

1月1日現在	前月比
男 13,786	▲ 2
女 14,205	▲ 1
計 27,991	▲ 3
世帯数	5,743 ▲ 2

発行所

茨城県八郷町役場
 発行責任者 木崎 真
 印刷所 やさと印刷所

八郷伝報

1 月
 NO. 199号

昭和47年1月15日



昭和四十七年の新春を迎え、心からお喜び申し上げます。就任以来、農業人口が八

農業の振興と観光開発へ

町長 関野信平

割を占める「農業の町」だけに、農業振興を主軸に新時代に対応しての総合的な

等につとめてまいりました。ささいなことであります。ささいなことに、町にはきれいな空気とそのままの大

発展策として、工業開発をあらたにかかげ、農業外収入の確保をめざす。いっぽう立地条件に適応した特産団地の形成、流通対制の確立

自然が横たわっており、この恩恵を最大限に利用するため、本年度は次のことを行ないたいと思っております。

農林業の振興については、基幹産業としての農林業を軸として、調和ある総合的な土地利用をはかり、農業生産と社会生活環境を整備するため、土地基盤の整備

を予定し、西光院の本堂を二千万円の工費で修復工事を行ないます。また観光道路としての峯寺山林道の完成も近く、筑波スカイライン等一連の観光道路とともに前進させる考えです。さいわい県下唯一の自然休養村の指定を受け、名実ともに新しい農業の出発点であり、希望に満ちた町づくりができると思っております。しかし、何と申ししても道路の整備を急ぐ必要があり、町道整備計画にもとづき、県道とともに早急に整備いたします。このほか、豊かな人づくりに欠かせない、学校、公民館の施設の充実を図るとともに、小学校統合問題については、本年柿岡小学校改築を機に積極的に進めたいと思っております。以上、着実にしかも精意をもって実行していきたいと思っておりますので、町民のみならず、ご協力をお願い申し上げます。



八郷町の夜明け 峯寺山西光院から吉生土地改良区を写す

賀 心

平和で明るい昭和四十七年の新春を迎え、町民の皆様と共に心から新年のお祝いを申し上げます。

とくに、十二月の町議選挙に際しましては、町民の皆様には格別なるご協力をいただきまして、ほんとうに



議会議員 原田 孟

全力で大任を果す覚悟

昨年、一月の町長選挙を皮切りに四月に知事選、六月に参議院選、十二月には町議選と全く選挙に明け選挙に暮れた一年でした。

ありがとうございます。議員一同になりかわりまして、心からお礼申し上げます。本年は、全町民の皆様とより浅学非才にて、この

不肖、わたくし、去る一月八日の臨時議会において議長職を再度お引受けいたしますことになりました。もと

すべきか、道路、教育、社会福祉など、重要問題の処理、そして、これらにともなう財源確保をどうするか等、種々の問題が山積みされておるとき、議長としての大任を勤めさせていただくことは、その責任に重大であります。また、わたくしといたしましても非常に働きがいがありますし、かつまた、この上もない光栄でございます。

豊富な自然環境に恵まれた八郷町を将来に悔いを残すことなく、豊かな住みよい郷土にするために、一生けんめいがんばる覚悟でございますので町民の皆様のご協力を重ねてお願い申し上げます。以上、簡単ではございますが、議長就任のあいさつをかねて新年のあいさつといたします。

臨時議会から

原田氏を議長に再任
 副議長は菊地氏に

新しい議会議員を迎えて、今年第一回目の臨時議会が、一月八日午前十時から議場で開かれ、議長をはじめとして新しい各常任委員会の委員の選任が行なわれました。

- 新しい議会構成
- 議長 原田 孟
 - 副議長 菊地 茂雄
 - 総務委員会
 - 田中 弘 ○岩本佳之
 - 菊地茂雄 桜井敏雄
 - 永井 清 峯 広近
 - 教育民生委員会
 - 中村謙一 ○助川愛民
 - 鈴木栄治 真家正一
 - 関 博三
 - 産業経済委員会
 - 馬田喜久雄 ○鈴木貴一
 - 大久保芳太郎 桜井 正
 - 足立 清
 - 土木建設委員会
 - 渡辺啓治 ○富田新一
 - 原田 孟 野内和夫
 - 水井敏夫 岡野重巳
- (注) ○委員長 ○副委員長

参議院議員補欠選挙

投票は二月六日に

参議院地方選出議員の補欠選挙が、二月六日に行なわれます。この選挙は、皆さんもご承知のとおり茨城県地方区選出の中村喜四郎議員が死亡したために、その補欠選挙が行なわれるものです。

参議院は、国権の最高機関として衆議院の行きすぎを防ぎ、また、深く専門的に掘り下げ審議する良識の府として、この選挙は大きな意味をもちます。とくに今後における国民生活と直結する大事な問題の解決にあたられるわけですから、良識の府にふさわしい人を選ばなければならぬわけで、そのカギを握るのが主権であるわたくしたちのほんとうの幸せを考えると、わたくしたちのほんとうの幸せを考えると、人を国会に送るため、投票日には必ず投票いたしましょう。

時間の励行

会議、話し合いは、必ず予定時間内で終るようにしよう

運転に

としより子どもは赤信号

新しい農家住宅づくり

下青柳にモデル農家住宅が完成!

下青柳集落にモデル農家住宅が完成しました。下青柳田園都市建設事業は豊かで、明るく、住みよい農村づくりという基本的方針のもとに、簡易水道の設置をはじめ衛生面の整備を行ない、このほか、生産面では、基盤整備を含めた農地の集団化で着々と理想的な農村づくりを進めてきました。この中で、生活環境の整備は豊かな生活をするうえで重要な意味をもつものですが、モデル農家住宅の完成は、これからの農家住宅づくりの新しい指針となることでしょう。

モデル農家住宅が完成したのは、下青柳七八三の高橋彦二(ゆ)さん宅で、設計にあたっては「モデル農家住宅設計のねらい」にもとづき、設計を行ないました。

モデル農家住宅設計のねらい

下青柳田園都市建設事業実施計画にもとづき、農業近代化センターや関城町など、他町村のモデル農家住宅の視察、さらに基本設計を基礎とした長期間にわたる協議によって成案となったものです。とくに生活の場と生産部門の分離については、住宅が生活本来の場となるように、生産に関連する更衣室



新しい農家住宅のモデルとなる高橋邸

モデル農家住宅平面図



モデル農家住宅の規模

建物は木造平屋スレート葺九九〇平方メートル。このほか、住宅部分と生産に関連する部分を分離するため、木造平屋カラー鉄板葺一九〇八平方メートルの付属棟を建設し、更衣室、足洗場、洗たく場、下便所を設置。なお、母屋と付属棟は台所の出口と結び、その間に雨天の場合の物干場を設置しました。これからの農家住宅は、作業に関連する部門と生活部門の分離によって、住宅が生活本来の場となることが必要です。理想的な生活空間をつくるうえで、このモデル農家住宅はたいへん参考になるものです。みなさんも参考のために、ぜひ一度ご覧になっていただきたいと思えます。

みなさんに解放された「町民憩いの家」



観音寺境内に「町民憩いの家」 みなさんに完全解放 いつでも、だれでも、自由に

だれでも集会などに気軽に利用できる「町民憩いの家」が250万円の費用をかけて完成し、みなさんに解放されました。完成したのは、大字下林にある観音寺の境内で、筑波山を一望に見わたせる絶好の場所です。

この「町民憩いの家」の規模は総面積73平方メートルで、15畳と10畳の通し間になっています。室内の設備ですが、台所や黒板など集会を開くのに必要な設備はそろっておりますので、30人ぐらいの集会でしたら十分に利用できます。いつでも、だれでも、自由に、利用できますので、ぜひご利用になってください。

建設するにあたっては、大字下林487の鈴木守之輔(すずきまもり)さんを中心とする建設委員の人たちの強い呼びかけに共鳴した、部落の人たちのあたたかい協力があって完成したもので、寄付総額は120万円にもなりました。このほか、町出身の有力者からもたくさんの寄付が寄せられ、このほど贈られた大きな双眼鏡も、筑波山を見わたせる場所に取りつけられました。

なお、この「町民憩いの家」を利用したい方は、鈴木守之輔(有線林713回線31番)さんにご連絡ください。

「青年議会」を開く

22名の青年議員が代表質問

二回目の「青年議会」が十二月二十一日、役場議場で行なわれ、この「青年議会」は、町内に住んでいる青年たちが議会というものを知らせてもらい、町政に対する関心を高める

ため、昨年につづいて開いたもので、青年たちは、議会を開くにあたって二日間わたる自主的な学習会を開き、町の概要や議会のすすめ方などについて、十分な勉強を重ねてきました。このため代表質問にも熱がはいり、本物の議員さんに負けないりっぱな質問もたくさん出ました。

「青年議会」は、町長はじめ助役、課長が出席、青年の一日議員二二名が議席につき午前十時に開会され午後三時すぎまで関連質問を含め、熱のはいった質疑が続けられました。

今回の代表質問は、

- 生産団地関係
- 学校の統合問題
- 田園都市のその後の経過
- 農道問題
- 企業誘致に関する政策
- 町の予算と人事問題
- 町道に関する長期計画と違法建物に対する行政指導
- 農業に関する観光開発
- 宿泊研修所、体育施設の建設

の九つで、関連質問を含め答弁にあたる町長や課長も真剣そのもの、これらの答弁に青年たちは熱心に耳をかたむけていました。

九つの代表質問が終わったあと、最後に教育長がいさづに立ち「わたしたちの幸せを得るために、本日出席したみなさんの行政に対する関心をいっまでもちつづけてほしい。みなさんの努力で町や部落をよくしていってほしい」とのべ「青年議会」を閉会しました。

この「青年議会」では、青年たちの自主的な意見がたくさん出て、町にとってもたいへん参考になりました。

来年も若々しい意見を聞き、それを町政に反映させるため「青年議会」を開く予定です。



代表質問をする青年議員 役場議場

新しい民生委員誕生

みなさんのよい相談相手に



新しい民生委員が誕生し、さる十二月一日に就任しました。民生委員は、社会奉仕の精神でつねにみなさんの幸せを考え、実現するために必要な知識と技術の修得に専念して、よい相談相手としてみなさんの幸せのために努力されます。

担当民生委員の氏名は次のとおりです。

- (一)内は担当地区
- 柿岡地区 ▽鈴木三意(荒原、館) ▽渡辺さき子(西町、上宿、寺田)
- 旭町 ▽中村はる(新宿、仲町) ▽小松きえ(北町、内宿) ▽平忠(下宿、新地、研究所)
- ▽岡野 正(金指、片野) ▽滝田哲太郎(高友、長堀、八重)
- 小幡地区 ▽岡本一郎(湯袋、一の沢、細内、香取) ▽潮田正市(須釜、石沢、細谷) ▽富田芳枝(上宿、中宿) ▽富田千代(下宿、横町、堀の内) ▽足立一(十三塚、里、藤本、稲子) ▽羽生包好(上青柳、下青柳) ▽広瀬恒一郎(加生野、原押越)
- 芦穂地区 ▽菊地秀雄(上根、北郷、辻、爪谷) ▽小久保(上野金吾、山居上寺、小屋) ▽福島晋(新田、北の内) ▽刈部義延(上曹) ▽中島定右エ門(小倉) ▽田島恵子(蔵岡) ▽藤代遠(小山田、猪内上)
- 恋瀬地区 ▽岡本昇(板敷北浦を除く大増地区) ▽海野まさ(板敷、北浦) ▽高野領雄(小見) ▽友部律(大塚) ▽吉田英(中戸) ▽大根恒雄(太田)
- 瓦会地区 ▽鈴木藤寿(上宿、石野、寺下) ▽鈴木隆治(部原、下宿、平沢)
- ▽野村宗市郎(野田、佐久、下三郷) ▽田島ひで(宇治会) ▽比企たま(小幡、宇治会の一部、県道西側、村子)
- 園部地区 ▽大根力雄(宮ヶ崎、張間、竹の内、新谷)
- ▽鈴木和雄(東山崎、南山崎) ▽高桑平一(真家宿、郷中、白幡、園中) ▽山口晃(山根、上郷、真家小堀) ▽中村英正(柴間宿山崎) ▽鶴井寛四郎(鶴沼、水沼、長原、塚原)
- ▽菱沼芳子(西久保、西原、上坪) ▽深作みつ(向原、中坪、下坪)
- 林地区 ▽高野庸之助(片岡、里、嘉良寿理) ▽大木フサ(根小屋) ▽吉川イン(浦須、前島、上林)
- ▽小林文雄(下林、飯塚) ▽核井正(戸の内、大岡、開拓、半田)
- 小松地区 ▽岡崎英男(川又) ▽上田政(青田、月岡) ▽松延力光(辻、柴内、弓弦) ▽酒井儀仁(仏生寺、中山、高蒲沢、小野越)

1月の納税

- 町民税 第4期
- 国民健康保険税 第4期
- 麦共済掛金



団員の服装を点検する町長

消防団の意気を示す

公民館グラウンドで盛大に「出初式」

恒例の「出初式」が一月十日、八郷公民館グラウンドで盛大に行なわれました。この日は、町の全消防力を結集しての儀式とあって、消防団員は、日ごろの消防に対する意気を思いつ分發揮し、熱のはいった「出初式」となりました。

式は、午前九時三〇分、全団員の整列によって開始され、点検官である町長をはじめ、たくさんのお賓客の見守る中で規律正しい消防精神がひろげられました。



消防自動車のパレード



瓦谷寺下で行なわれた「いっせい放水」

まず、各分団ごとに整列し、点検官が各団員とあいさつをかわしたあと、第四分団による模範操法、分列行進、一四台の消防自動車のパレードがつぎつぎと行なわれました。なお「出初式」では、消防功労者や火災の早期発見に協力してくれた人たちの表彰があり、たくさんの人たちに記念品をそえて表彰状や感謝状が贈られました。

公民館グラウンドでの式をいとおう終了したあと、一四台の消防自動車ポンプが瓦谷寺下に集結して、いっせい放水が行なわれ、強化された消防の機動力をみなさんにひろげ、とどこおりなく、「出初式」を終了しました。

「出初式」では次のかたがたが表彰を受けました。

- 日本消防協会会長表彰**
精進章 指揮官、込山一夫(小幡)
- 県知事表彰**
永年勤続表彰 指揮官、吉田広司(柿岡)団長、岡野重巳(大塚)部長、助川芳雄(小幡)、安田武雄(大塚)、長谷川勝(山崎)班長、安達健一(真家)、長谷川芳男(小幡)団員、梅沢松五郎(片野)、郡司徳衛(中戸)、真家璋一(山崎)
- 町長表彰**
火災の早期発見 小池武男(柿岡)十五日会(代表 井井伸夫)高野祐次(八郷高校生)佐藤孝夫(小幡)岡野三雄(小幡)広瀬正二(小幡)小松誠(小幡)中島重雄(小幡)藤岡ふみ(小幡)池田和枝(瓦谷)高丸本重(大塚)海野隆雄(小幡)白田芳男(野田)
- 消防用器具の寄贈** 小林平右衛門(須釜)吉田広司(柿岡)第五分団第二部後援会(会長村田拾吉)第五分団第五部後援会(会長小松代治)
- 器具置場敷地提供者** 桜井修二(柿岡)岡野正(片野)吉田真人(小幡)高橋三郎(下青柳)香取神社代表本園桂一郎、白井和之助(上曾)上山区長、鈴木章
- 優良分団表彰** 第一分団第三部、第二分団第二部、第三分団第二部、第四分団第二部、第五分団第五部、第六分団第二部、第七分団第一部、第八分団第一部
- 優良団員表彰** 部長安田武雄(大塚)稲見浩(宇治会)団員大関久(柿岡)
- 精進章** 部長植木昭夫(柿岡)森光男(小幡)加藤勝一(片野)安田武雄(大塚)潮田敏(小幡)石田裕三(瓦谷)稲見浩(宇治会)小松浜之助(野田)菱沼定夫(東成井)河合定雄(下林)班長細谷石三(片野)倉木喜一(小幡)柘植孝夫(小幡)岡野和夫(瓦谷)中島政男(小幡)小山村(下林)団員寺沢勝義(柿岡)塚田好一(小幡)大関久(小幡)平井恭(小幡)久保田実(小幡)宮久保文男(小幡)片岡栄(小幡)渡辺啓吉(小幡)岡野要(小幡)桜井正男(小幡)上田忠誠(小幡)武田栄一(小幡)桜井義昭(瓦谷)谷島幸三(小幡)加藤充(下林)富田実(小幡)小野瀬克一(小幡)

第二〇期老人大学入学式

「百寿会のうた」を元気に合唱

老人大学の入学式が一月十四日、老人福祉センターで行なわれ、新しく四九名の老人大学生が誕生しました。

入学式は、新しく老人大学生となられるお年寄りをむかえ、助役をはじめ来賓の出席のもとで、午前十時に開会されました。出席したお年寄りたちのみなさん、全員なかよく手をつな

く「百寿の和」をはじめ、「君が代」の斉唱、「百寿会のうた」を元気に合唱したいへんたのしそでした。

老人大学は月二回開かれますが、入学したお年寄りたちが半年間元気に勉強をつづけ、仲よく卒業できるようにみなさんも暖かい目で見守ってやりたいものです。



元気なお年寄りたち



花ひらく国民年金 (13)

通算老令(退職)年金の支給要件
通算老令(退職)年金は各制度に加入していた期間を通算して、一定以上の年数があつた人に年金が支給されるわけですが、この一定年数というのは普通二〇年か二五年です。

例A(通算二〇年)
共済組合 一四年
厚生年金 六年

国民年金 三年
この例は、被用者年金に長く加入していた人の場合です。つまり、国民年金以外の制度に二〇年以上加入していれば、それ以外に国民年金の保険料を納めた期間(又は免除期間)に応じて、国民年金からも通算老令が加算されます。

通算年金シリーズ ②
通算年金の特例
二〇年、または二五年で年金が支給されますが、これでは年金がつくまでに長い期間をそれぞれの年金制度に加入していなければならないので、老令に近づいている人にとっては、せうかか年金制度ができて年金が受けられない場合が、つまずき、被用者年金制度の期間を通算して二〇年にならなかつた場合は、国民年金の保険料を納めた期間、または免除期間とあわせて二五年以上になればよいわけです。

通算老令(退職)年金の短縮されます。

通算老令(退職)年金のつく加入期間は、原則として二〇年、または二五年ですが、これでは年金がつくまでに長い期間をそれぞれの年金制度に加入していなければならないので、老令に近づいている人にとっては、せうかか年金制度ができて年金が受けられない場合が、つまずき、被用者年金制度の期間を通算して二〇年にならなかつた場合は、国民年金の保険料を納めた期間、または免除期間とあわせて二五年以上になればよいわけです。

例C
厚生年金 二〇年
国民年金 三年
厚生一本来の老令年金 二〇年
国民一通算老令年金 三年
さきにあげた相互に通算できる八つの公的年金制度以外のものでも、老令とか退職によって受けられる年金を実際受けていけば、その人がほかの制度に加入していた期間からも通算年金が受けられます。



有中にアクアarium 老人からぞうきんも

有明中学校にこのほど次のかたがたから、たくさんのお贈りがありました。○大字瓦谷の藤井こうじさんから美化清掃に役立ててほしいと手縫いのぞうきん一〇〇枚、○恋瀬第四老人クラブ(中戸、会長吉田命)からぞうきん一〇〇枚、○石岡の次城錦鯉センターの経営者、大関哲夫さんから母校の後輩の情操教育に役立ててくださるとアクアarium(生物飼育水槽)と金魚、錦鯉(五〇万円相当)が贈られました。

○岩瀬町の保坂松雄さんから広報活動に利用していただきたいと掲示板(五万円相当)が贈られました。

学校では、みなさんからのあたたかい贈りものに感謝して、寄贈者の恩に報いるため、なおいっそう教育に力を入れていきたいといっています。

恵まれないかたに
●歳末募金
恵まれないかたが明るい正月をむかえらるるようにと、次のかたがたから歳末募金がよせられました。これらのお金はさっそく恵まれないかたに配分し、たいへんよろこばれました。

○大字柿岡、小松崎栄一さんの二女で小松崎訓子(山崎)さんから、四八五円
○大字柿岡、山中縫製工業(山中光三社長)一同から七、四四四円
なお、このほか常陽銀行柿岡支店からは、老人福祉センターにテーブル一〇台が寄贈されました。

紙上講座

八郷の皆様、明けましてお目出度うございます。いよいよ昭和四十六年もすぎ、昭和四十七年を迎えました。毎日、新聞やテレビでも四十六年

はずいぶんあれこれ年々でしたね。航空事故あり、学生の中核問題あり、交通事故あり、経済問題ありで、まったくさわがしい年でした。早くこうした年を忘れてもとおちついたゆりのある生活がしたいものです。お互いが、もっと「エチケツト」を守り、毎日楽しい日をおくれないものでしょうか。

エチケツトについて

公民館長 田上嘉雄

めるということの意味します。順番がきまってきた以上、それを乱してはいけないこととなります。「割り込み」ということは、そういった自然の社会秩序を破ることです。それは、最低の公衆道徳を守らないという事です。若い人たちはご存じないと思えますが昭和二十年八月の敗戦直後の日本は、そういった公衆道徳の失われた時代でした。いわば一種の野蛮時代でした。「われ勝ち」に乗るといふことは、あたりまえのような時代でした。それが、だんだん反省されていくような秩序をとりもどしてきたのです。



「エチケツト」が必要で、どんな立派な機械でも、潤滑油がなければ火が散って磨滅し、破損してしまいます。結局機械そのものがなくなってしまうのです。それとおなじで、礼儀がなくなると人間そのものがなくなってしまうのです。機械そのものは平等であっても潤滑油が必要なんです。「エチケツト」は、機械にたとえれば潤滑油であります。どうでしょう。お互い「エチケツト」を考え、守って、もっと楽しい生活をおくるよう心掛けようではありませんか。



↑ 晴着姿が目をひいた柿中体育館
← 青年の主張論文を発表する代表



柿中で成人式典

「成人の日」の一月十五日、新しく成人となられた人たち三二〇名をむかえて一人前の社会人としての門出を祝う記念行事が、柿中体育館で行なわれました。この日、式典に出席した成人者は全員「成人証書」を手にし、明るい表情で新しい人生へスタートしました。なお、町では、記念として、成人者全員に梅の苗木を贈る予定です。

新しい人生へスタート



「成人証書」を受ける成人者

は、昭和二十六年四月二日から昭和二十七年四月一日までに生まれた人たちが、町内では五六三名が新しく成人となられ、輝かしいスタートをきりました。記念行事が行なわれた柿中体育館には、今までの鹿島神社での成人式典とは違ってかわり、ほとんどの女性が晴着で出席、会場はあでやかでつつまれました。式典は、午前十時に開始され、まず町長から各地区の代表者に記念品をそえて「成人証書」が贈られました。このあと町長が「みなさんがすくすくと育ち、りっぱな社会人となられることを祈る。その意味で、奮起と前進を重ねていってほしい」とあいさつ。つづいて議長から成人者に対しての激励の言葉を述べられました。これに答えて、大字小幡の柴一郎さんが成人者を代表して、これまで暖かく見守ってきてくれた人たちに感謝の言葉を述べ、新たな決意を力強くのべ「成人式典」を終了しました。

成人者論文

自動車 己の道で」と志し、四十三年の九月二日のことでした。両親や先生の反対も押し切り、私は、退学届を出すと同時に上京したのでした。だが、当時東京には誰ひとりとして知り合いがなかった私。駅前であつた一枚の新聞を頼りに、浅草の「田宮モーターズ」という小さな工場へ歩みを進めたのでした。そこはほんとうの小規模で、そこのおやじさんととうり一人の若者との二人とで工場を営んでおりました。私は、たずねると同時に、どうぞ、使ってくださいと、おやじさんと、五年も前のことに戻ります。私は、ある工業高等学校の入学を目ざした一人でありました。しかし、農家の長男として生まれた私は、どうしても農業高校へ入学しなればならぬことになってしまったのでした。これじゃいけないと思いつつも、高校というものがあっても、高橋という名前が選んだこの道

私が選んだこの道

大字加生野 田村豊治

れまでとは違った環境だったので通った高校生活だが、このような生活は私に生きがいと満足を与えてはくれませんでした。また、こうしているうちに時は流れ、二年生にもなっていました。私は、どういふわけか農業クラブ副会長という大役を引き受けることになってしまったのです。だが、クラブ役員活動を通じて、クラブ役員活動を通じて、自分がほんとうに三無主義の徹底者だなあと思う反面、それがまた中退という型を決意させる勇気ともなり、俺は生きがいを求めてみる、自



仕事に全力を注ぎ、汗水流して働き、泥まみれになって働く、打ちこんでいく姿、そして、その中から生きがいを見出し、いくつかに必要だと感じていたからであります。社会という大きな闇の中からみつけたひとつのこの道。これからは二級整備士、検査員など、取らねばならぬ資格、また、数多くの疑問を投げかけ、ことをおこなうという。しかし、私は、ひとつひとつのりこえ、あせらず、もう曲りもありません。自動車整備士として、常に新しい技術をマスターしながら、技術を追いついていくのが私の生きがい、私は、若い力をこの若いエネルギーを燃やしていくのです。生きがいのあるこの青春の日々を。

カメラの選び方

日用品として、カメラは欠かせないものとなっておりますが、その選びかたについて書いてみましょう。

カメラの種類にはいろいろありますが、現在、一般家庭用として使われているのは、三十五ミリ判の一眼レフと、同じ三十五ミリ判の距離計連動式のもの、および三十五ミリ判の半分の大口径に写るハーフサイズのもので大部分です。

カメラを買うときは、どんな目的で買うのかをハッキリ決めることと、芸術写真などを写したい人なら、望遠撮影や接写撮影のための付属部品をとりつけることができる三万円以上の一眼レフや二眼レフがいいでしょう。ハーフサイズカメラは、二倍の枚数が写せるというところ、だれにも簡単に写せること、値段がほかのカメラとくらべて安い(一万円前後)のが特徴です。

堅いモチは

堅くなったお供えモチを小さくくだいて二、三日のあいだ水に浸しておき、とり出して適当な量づつまよめます。それを熱したフライパンの上でこねるようにして焼くようになります。

